

食品安全委員会の8月の運営について（報告）

1. 食品安全委員会の開催

第250回 8月7日（木）

（1）食品健康影響評価の要請

- 以下の案件についてリスク管理機関から説明

遺伝子組換え食品等（3品目）	① チョウ目害虫抵抗性トウモロコシMON89034系統とトウモロコシ1507系統と除草剤グリホサート耐性及びコウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシMON88017系統とコウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ<i>B. t.</i> Cry34/35Ab1 Event DAS-59122-7系統からなる組合せの全ての掛け合わせ品種 既に安全性評価が終了した次の2品種は除く ・ チョウ目害虫抵抗性トウモロコシMON89034系統と除草剤グリホサート耐性及びコウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシMON88017系統とを掛け合わせた品種 ・ トウモロコシ1507系統とコウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ<i>B. t.</i> Cry34/35Ab1 Event DAS-59122-7系統とを掛け合わせた品種 ② HIS-No. 1株を利用して生産されたL-ヒスチジン塩酸塩 ③ ILE-No. 1株を利用して生産されたL-イソロイシン
----------------	--

（2）各専門調査会における審議状況についての報告

- 専門調査会から報告された以下の案件について国民からの意見・情報の募集に着手することを決定

農薬専門調査会（2品目）	オキサジアゾン、カルボキシシン
遺伝子組換え食品等専門調査会（1品目）	コウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシMIR604

（3）食品健康影響評価

- 以下の案件について検討し、食品健康影響評価の結果をリスク管理機関に通知

動物用医薬品（3品目）	① ミロサマイシン ② ミロサマイシンを有効成分とする豚の注射剤（マイプラビン注100） ③ ミロサマイシンを有効成分とするみつばちの飼料添加剤（みつばち用アピテン）の再審査
遺伝子組換え食品等（1品目）	<i>Streptomyces violaceoruber</i> (pNAG) 株を利用して生産されたキチナーゼ

- (4) 食品安全委員会の改善に向けた検討について、事務局から今後の進め方に関し（案）が示され了承された
- (5) 平成 19 年度食中毒発生状況の概要について厚生労働省から報告
- (6) 中国産冷凍食品による薬物中毒事案について厚生労働省から報告
- (7) 食品安全委員会の 7 月の運営について報告

第 251 回 8 月 21 日（木）

- (1) 野田内閣府特命担当大臣（食品安全）挨拶
 - ・ 野田内閣府特命担当大臣（食品安全）から就任の挨拶が行われた
- (2) 食品健康影響評価の要請
 - ・ 以下の案件についてリスク管理機関から説明

農薬（2 品目）	ダイアジノン、スピロテトラマト
----------	-----------------

- (3) 各専門調査会における審議状況についての報告
 - ・ 専門調査会から報告された以下の案件について国民からの意見・情報の募集に着手することを決定

農薬専門調査会 （2 品目）	クロフェンセット、フルフェンピルエチル
-------------------	---------------------

- (4) 食品健康影響評価
 - ・ 以下の案件について検討し、食品健康影響評価の結果をリスク管理機関に通知

農薬（2 品目）	オキサジクロメホン、ゾキサミド
----------	-----------------

- (5) 「食の安全ダイヤル」に寄せられた質問等（平成 20 年 7 月分）について報告

第 252 回 8 月 28 日（木）

- (1) 各専門調査会における審議状況についての報告
 - ・ 各専門調査会から報告された以下の案件について国民からの意見・情報の募集に着手することを決定

農薬専門調査会 （2 品目）	クロラントラニリプロール、プレチラクロール
-------------------	-----------------------

(2) 食品健康影響評価

- ・ 以下の案件について検討し、食品健康影響評価の結果をリスク管理機関に通知

農薬（3品目）	アセタミプリド、チアゾピル、メタフルミゾン
---------	-----------------------

(3) 食品安全モニターからの報告（平成 20 年 7 月分）について報告

2. 専門調査会の運営

(1) 企画専門調査会

第 25 回 8 月 28 日（木）

- ・ 食品安全委員会が自ら食品健康影響評価を行う案件の検討・選定について審議し、①「アフラトキシンに関する食品健康影響評価」、②「オクラトキシンに関する食品健康影響評価」、③「ゼアラレノンに関する食品健康影響評価」、④「デオキシニバレノールに関する食品健康影響評価」、⑤「フモニシンに関する食品健康影響評価」、⑥「食品中のヒ素に関する食品健康影響評価」及び⑦「サプリメントの複合影響に関する食品健康影響評価」について次回の企画専門調査会で再度検討することとなった

(2) リスクコミュニケーション専門調査会

第 39 回 8 月 19 日（火）

- ・ 「意見交換会の実施と評価に関するガイドライン（案）」について修正案を説明後、審議
- ・ 『「地方自治体との協力」における当面の取組方向（案）』について修正案を説明後、審議
- ・ 透明性の確保と情報提供のあり方に係る担当グループでの検討内容について説明後、審議
- ・ 食品安全委員会、厚生労働省及び農林水産省における意見交換会の開催状況、情報発信の内容などについて報告後、質疑

(3) 農薬専門調査会

第 23 回 総合評価第二部会 8 月 1 日（金）※非公開

- ・ ①「ミルベメクチン」、②「メプロニル」、③「レピメクチン」及び④「フルジオキシニル」について調査審議し、②については継続審議、それ以外については評価書案を一部修正の上、幹事会に報告することを決定

第 24 回 総合評価第一部会 8 月 6 日（水）※非公開

- ・ ①「アセフェート」及び②「ブタミホス」について調査審議し、①については継続審議、②については評価書案を一部修正の上、幹事会に報告することを決定

第 42 回 幹事会 8 月 19 日（火）

- ・ ①「クロラントラニリプロール」、②「パクロブトラゾール」、③「ピリプロキシフェン」、④「フルアクリピリム」、⑤「プレチラクロール」、⑥「ペンシクロン」及び⑦「ヨウ化メチル」について調査審議し、③及び⑤は原案どおり、それ以外の評価書案は一部修正の上、それぞれ食品安全委員会に報告することを決定

第 18 回 確認評価第一部会 8 月 20 日（水）※非公開

- ・ ①「プロチオコナゾール」、及び②「ミクロブタニル」について調査審議し、評価書案を一部修正の上、幹事会に報告することを決定

（４）器具・容器包装専門調査会

第 10 回 8 月 27 日（水）

- ・ 厚生労働省よりビスフェノール A の食品健康影響評価の諮問経緯を説明
- ・ ビスフェノール A の毒性知見から、低用量曝露による生殖発生毒性に係る評価が特に重要であると考えられ、この毒性に係る評価は、器具・容器包装専門調査会に当該分野の専門家からなるワーキンググループを設置し、重点的かつ効率的に審議していくことが了承された
- ・ 平成17－19年度の食品健康影響評価技術研究で実施された「器具・容器包装に用いられる合成樹脂のリスク評価法に関する研究」の報告書が提出されたことを受け、今後、当該報告書に基づき、リスク評価のためのガイドラインについて検討していくこととされた

（５）遺伝子組換え食品等専門調査会

第 64 回 8 月 25 日（火）※非公開

- ・ ①「チョウ目害虫抵抗性トウモロコシMON89034系統とトウモロコシ1507系統と除草剤グリホサート耐性及びコウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシMON88017系統とコウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ *B. t.* Cry34/35Ab1 Event DAS-59122-7 系統からなる組合せの全ての掛け合わせ品種既に安全性評価が終了した次の 2 品種は除く
 - ・ チョウ目害虫抵抗性トウモロコシMON89034系統と除草剤グリホサート耐性及びコウチュウ目害虫抵抗性トウモロコシMON88017系統とを掛け合わせた品種
 - ・ トウモロコシ1507系統とコウチュウ目害虫抵抗性及び除草剤グルホシネート耐性トウモロコシ *B. t.* Cry34/35Ab1 Event DAS-59122-7 系統とを掛け合わせた品種」、
- ②「HIS-No. 1 株を利用して生産された L-ヒスチジン塩酸塩」及び③「ILE-No. 1 株を利用して生産された L-イソロイシン」について調査審議し、指摘事項を確認の上、評価書（案）を了承することとなった

(6) 新開発食品専門調査会

第 53 回 8 月 6 日 (水) ※非公開

- ・ 「ライフナビ カルシウムを含むお茶」について調査審議し、継続審議となった

3. 意見交換会等の開催

(1) 意見交換会

ジュニア食品安全委員会 (第 1 ～ 3 回)

8 月 5 日 (火) <第 1 回 (10:30～12:00)、第 2 回 (14:00～15:30)>

8 月 26 日 (火) <第 3 回 (14:00～15:30)>

- ・ 小学校 5, 6 年生の児童の皆さんを対象とし、食品安全委員会委員による食べ物の安全についての短い授業やクイズ、ジュニア委員と食品安全委員会委員との話し合いなどを通じて、「食べ物の安全を守るための取組」や「そのために私たちがどんな努力をしたらよいのか」といったことを楽しみながら学んでいただくことを目的として、夏休み期間中に実施

食品安全フォーラム in とやま

8 月 27 日 (水) <富山県富山市>

- ・ 食品の安全性に関する理解を一層深めていただくために、富山県との共催で、意見交換会を開催。食品安全委員会の長尾拓委員から「食品安全委員会の取組」、実践女子大学生活科学部長の西島基弘氏から「食品の安全と安心～食品添加物を中心に～」と題した講演が行われ、科学に基づく食品の安全確保の仕組みや食品添加物についてわかりやすく解説するとともに、会場との意見交換を実施

(2) 食品の安全性に関する地域の指導者育成講座

8 月 22 日 (金) <愛知県名古屋市>

8 月 26 日 (火) <愛媛県松山市>

- ・ 食品安全委員会と各自治体の共催で開催し、事務局から「食品安全のためのリスク分析 (食品のリスクとのつきあい方)」と題して講演を行った後、ゲーミングシミュレーション「クロスロード」の説明とグループに分かれての演習を実施

4. その他

なし